

ねいの里 ホオホオニュース



マルタンヤンマが産卵

マルタンヤンマは温暖化によって分布域が北上しているといわれるトンボの一つです。富山県では1990年に初めて繁殖が確認され、その後分布を拡大し現在ではほとんどの市町村で繁殖が確認されています。

ねいの里では2006年に初めて目撃されて以来毎年目撃されていますが、産卵行動が確認されたのは今回が初めてです。今後ねいの里で数を増やしていく可能性のあるトンボの一つです。



中田 達哉 (酪農学園大学 3年)

アサギマダラの産卵確認

(県内初記録か)

山口由紀子

5月30日 魚津市三ヶ村でアサギマダラが幼虫の食草である「イケマ」に産卵しているところに出会いました。ねいの里館長さんに見て頂いたら、めずらしいと伺ったので、卵の確認に行ってきたところ、全部で10個ほどあり、とてもきれいな印象でした。

次に経過を見に訪れた時は、孵化した綺麗な幼虫が2匹いましたが、その後行った時には、幼虫はいなくなっていました。食痕から見て、早い時期に全滅したと考えられました。自然界で生きて行くのは、天敵も多く大変難しいと感じました。



産卵中のアサギマダラ



イケマに産み付けられた卵



幼虫も綺麗でした。

ねいの里は秋の気配

はじめまして二宮です。ご縁があって6月より週に数日「ねいの里」に勤務していますが、毎日が驚きと発見の連続です。

大好きな自然に携われる仕事はとても楽しいのですが、生き物に関わることも多く、そういった時の正しい対応など、自分の行動の責任の重さをひしひしと感じています。

さて、最近のねいの里はというと、秋の気配がいっぱいです。森を抜けてくる風はとても気持ちがよく、草木も実りの季節を迎えています。秋の実りと言えばきのこも見逃せませんね。

どんなきのこに出会うのか楽しみです。10月12日には恒例の「キノコ狩りとキノコ汁を愛でる」の行事も行われます。皆さんにお会いするのを楽しみにしています。

二宮 美加



里っこ山っこ水っこに

私のジュニアナチュラリスト活動

藤井 雄太

「何か動物とかに興味ある？」そう聞かれたのがジュニアナチュラリストになるきっかけでした。昔から動植物などに興味があったぼくはその友だちと共にジュニアナチュラリスト研修を受講しました。最後の有峰での研修が終わりジュニアナチュラリストとして認められ、今の活動を行っています。



ジュニア養成講座を手伝う藤井君

現在の活動はジュニアナチュラリストの研修会の手伝いをしたり、アサギマダラのマーキング調査やクツワムシの観察会に参加しています。ジュニアナチュラリストは、僕の人生を変えてくれ新しい友達との出会いや、森や動植物とのふれあい方を教えてくれました。これからも続けてゆきたいと思います。

活動をふりかえり

◆ 囲炉裏とヘイケボタル鑑賞 (6月13日)

4年目を迎えたヘイケボタルの鑑賞会が行われ、約160名という多数の参加者がありました。炭焼き小屋でヘイケボタルの生態などの講演会が行われました。講演が終る頃は空も暗くなり、自然塾の会のメンバーも協力して作った100本を超える竹アンドンに灯がともり幻想的な雰囲気となりました。午後8時頃には数多くのヘイケボタルが乱舞し参加者を楽しませてくれました。

毎年の多くのボタル生息する水生庭苑は、これまで努力が続けられてきたビオトープ作りの成果ではないでしょうか。

記：長谷川 覚

暗くなる前の講演会

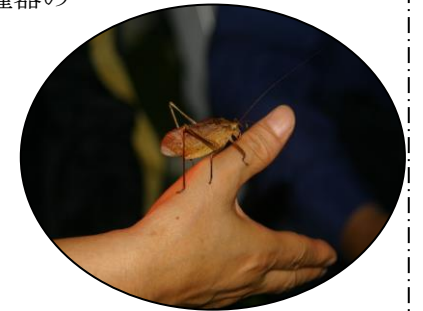


◆ 星座とクツワムシを愛でる (8月23日)

クツワムシってどんな鳴声？どんな星の話かしらと孫と話しながら出かけた。懐中電灯に赤いセロファンを貼って、さあ虫探しに。耳を澄まして・・・あっ、聞こえる。洗濯機の脱水機に衣類が片寄りしている音、機械みたい。5cm位の体長で、背が高く足が長い日本で最大のキリギリスの仲間はライトの中で胸を張っているみたいだ。私の手に長く止まったので、孫も私もとても感激した。

また、南の林の上からさそり座のはさみと心臓部分の赤い星アンタレスも確認でき、その意外な大きさにビックリ。夏の夜の「愛でる会」は竹あんどの灯りで一段とロマンチックになった。素敵な企画とお世話に感謝します。

記：森 朝子



森さんの手に止まったクツワムシ

毎月第1土曜日が活動日です。

塾の会活動日のうち、ねいの里との共催行事には準備の都合上参加予約が必要です。
 お気軽にねいの里へお越しください! (都合のよい時間だけの部分参加も歓迎です。)
 昼食は各自ご持参ください、炭焼き小屋の囲炉裏を囲んでわいわい楽しくおしゃべりし、食べましょう。

11月7日(土)	12月5日(土)
○ 午前9:30時 ~ 12時 ・秋のネイチャークラフト 落葉のしおり作りと木の実の工作を行います。事前に申し込みが必要です。	○ 午前9:30時 ~ 12時 ・クリスマスリース作り 自然の材料を使ってクリスマスリースを作ります。事前に申し込みが必要です。
参加者/定員 25名	参加者/定員 25名

~ねいの里行事予定 案内~

- 10月12日(土) 9:00 ~ 13:00 注 キノコ狩りの日時が当初の10/10から10/12に変更となりました。
キノコ狩りとキノコ汁を愛でる (定員は先着 300名)
- 12月6日(日) 9:00 ~ 11:00 シイタケのホダ木作りを行います。2年後のキノコ作りにトライ (定員は 先着 25名)

■ 特別展示

10月23日 ~ 11月19日 ナチュラリスト協会写真展
 11月22日 ~ 12月13日 いちよん会自然写真展

■ お願い ■

- 会員の駐車場利用について
 会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、休祭日の「いこいの村」駐車場利用料金が無料となっています。会員の方が駐車される場合は、ナチュラリスト駐車場の利用をお願いします。

発行 生き物ふれあい自然塾 塾長 湯浅純孝
 〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1 自然博物館ねいの里内
 Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp
 ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>

ふくろう通信

第15号
 2009年10月 1日
 生き物ふれあい自然塾

ふくろう先生へ



書いてみよう

今日のふくろう先生は

石澤 岩央さん (通称 花じいさん)
 (自然塾の会 事務局長)
 めぐみの森 ねいの里



ねいの里にある「炭焼き小屋」。炭焼きなどの学習だけでなく、いろんな行事の後のお弁当をいただく場所としてもありがたい存在ですね。その昔、ねいの里一帯では、長い長い間炭焼きが続けられ、木々を切っては移動してというふうには、里山の利用を通して明るい森が続いていました。

それが、昭和30年代後半ごろから、炭焼きが行われず、木々やつる植物が伸びた暗い森になっていきました。それが平成14年から、里山の再生が行われ、15年には今の炭焼き釜と小屋が出来上がったのです。

さて、話は変わって、ねいの里にはどれぐらいの種類の植物が生育しているかご存知ですか。富山県全体の植物(シダ植物を含む)は3,000種類弱です。ねいの里の面積は約13haで、富山県面積の3万分の1弱ですから、面積比で考えると「1種類」にもなりません。しかし実際には534種類もの植物が生育しているのです。もちろん県内には高山帯など植物に厳しい環境の土地を含んでいることもありますが、これらを差し引いても「へえ、結構たくさんの植物があるんだなあ」とは思われませんか。こうした植物の種類数の多さ、そして生物の多様性は、かつて炭焼きを行っていた頃の遺産でもあり、また、現在里山再生を行っている多くの皆さんの努力のたまものと言えるでしょう。

そう思うと、「炭焼き」ってとっても大事なんですね。今度の10月3日は自然塾の会行事で「炭焼き教室」が行われます。皆さん、もう一度、炭焼きについて考えてみてくださいね。

樹木調査中に発見された窯跡



炭焼き窯は平成13年に復元され、炭焼き小屋は利用者の大切な交流の場所となっています。

自然情報

ミズアオイ	水生庭苑にカモシカ!	マイコアカネ
8月末からミズアオイが咲き始めました。富山では危急種に指定されている植物です。	7月7日水生庭苑にニホンカモシカが現れました。(丸山さん撮影)	青白いきれいな顔のトンボです、皆さん探して見てください。